

環境経営レポート

(対象期間：2024年4月～2025年3月)



エコアクション21

認証番号 0011920

2025年7月11日発行

2025年8月18日改定

北砲興発株式会社



もくじ

【1】	ごあいさつ・環境経営方針	P 1
【2】	組織概要・組織図施設概要・処理方法処理工程	P 2 ~ P 8
【3】	環境経営実績（年度別）	P 9
【4】	環境経営目標	P 1 0
【5】	環境経営実績（全体）	P 1 1
【6】	環境経営計画の取組結果とその評価	P 1 2
【7】	社会貢献	P 1 3
【8】	環境関連法規等の厳守状況確認および 評価ならびに違反、訴訟等の有無	P 1 4
【9】	代表者による全体の評価と見直し	P 1 4

【1】ごあいさつ

日を追うごとに環境への関心が高まる中で、リサイクル事業、建設事業はこれからますます重要性を増していくものと感じております。

循環社会での企業に求められているのは、確かな技術より良い社会を創造する力です。

私共、北砲興発株式会社は、建設、環境リサイクルのプロフェッショナルとして明るい未来を創造するために・・・ 一歩一歩前進していきます。

【環境経営方針】

＜基本理念＞

北砲興発株式会社は、主に中弘南地域を主体として産業廃棄物処理業及び建設業に係る事業活動を通して、地域社会のために貢献してきました。

当社は、ますます深刻化する環境問題への対応が重要課題であるとの認識に立ち、遵法 の精神に乘っ取り、全組織及び全活動に係る環境負荷の低減を図るため、全社一丸となり、自主的、積極的に環境経営の継続的改善に取り組めます。

＜行動指針＞

I 環境関連法規などの遵守する

II 環境負荷の低減

- ① 重機等の燃料使用量を削減し二酸化炭素の排出削減の推進に努める。
- ② 建設副産物および受託廃棄物の分別徹底により再資源化推進に努める。
- ③ 建設現場や中間処理場等の排出水の適正な管理及び節水を推進する。
- ④ 建設現場や産業廃棄物の中間処理や運搬処理における環境に配慮した施工や作業を推進する。

III 社員および現場従事者へ環境経営方針を周知し、PDCAによる改善に取り組む

IV 環境経営レポートの公表を通じ、評価及び改善を図る

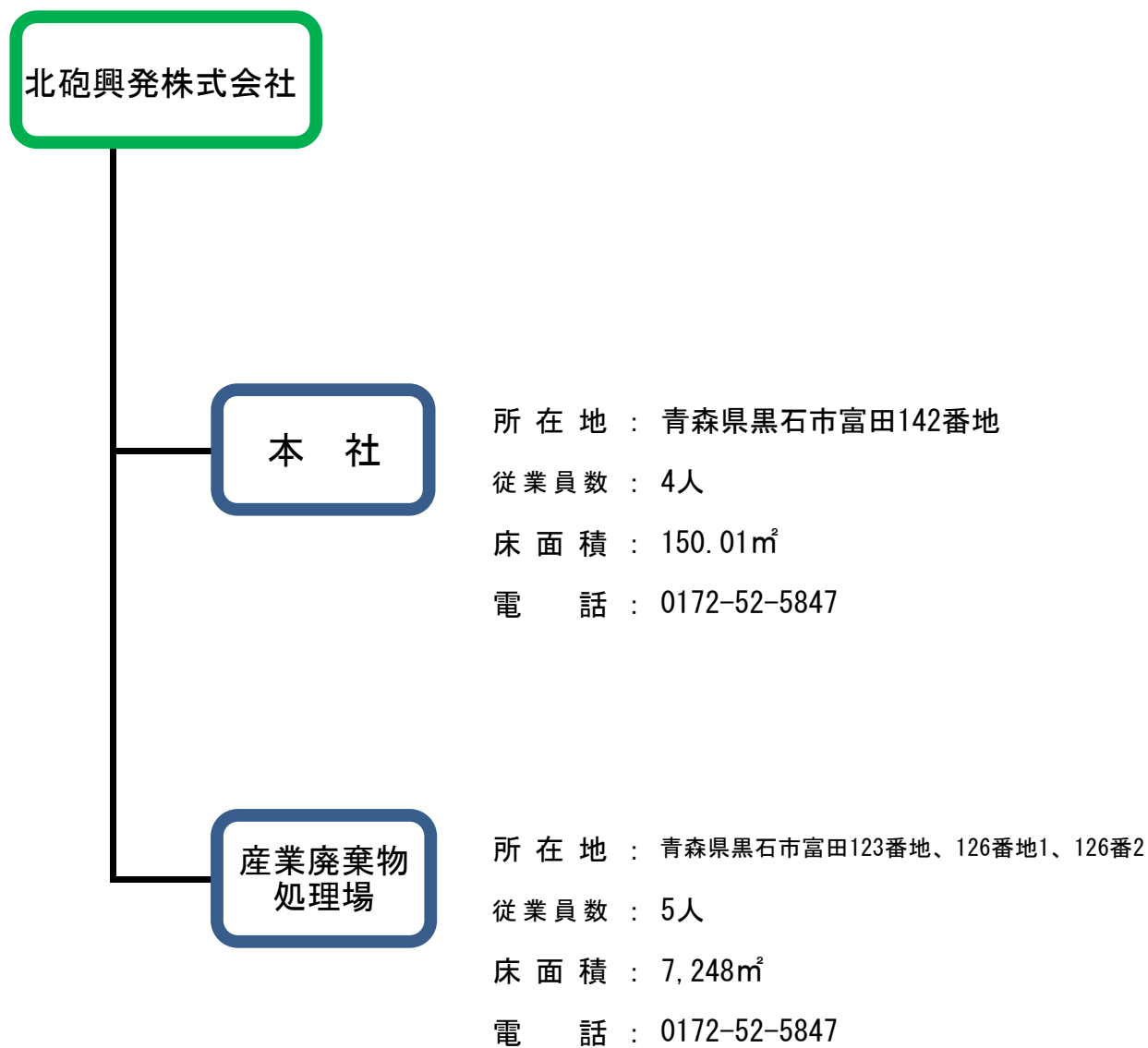


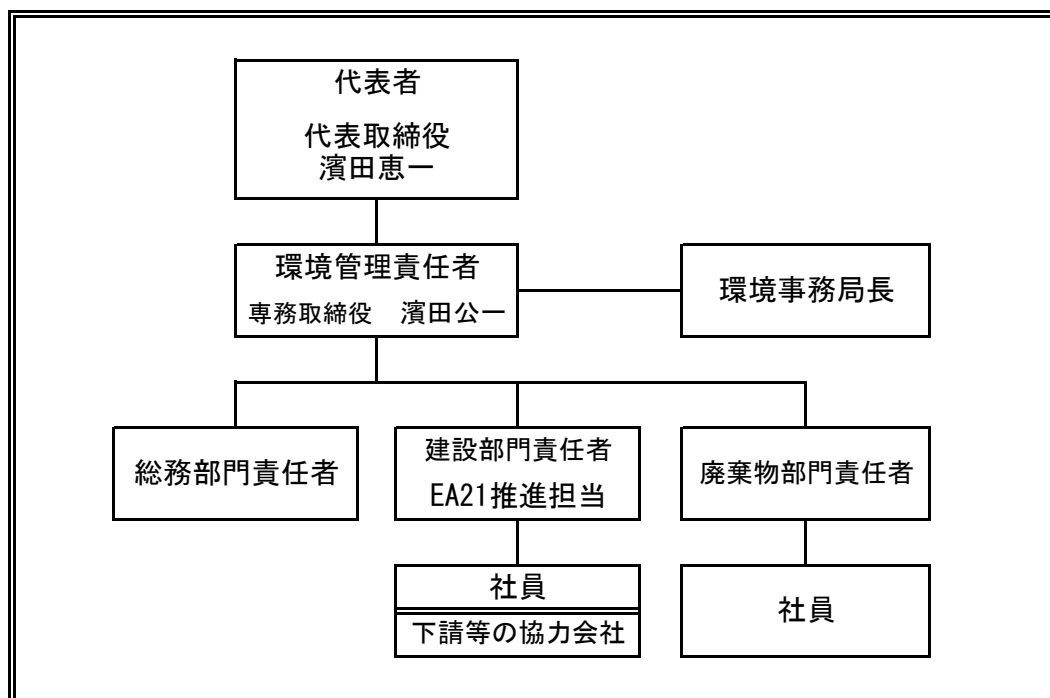
制定日 平成28年 8月26日
改定日 令和7年 7月23日(第四版)

北砲興発株式会社 代表取締役 濱田恵一

【2-1】

☆☆☆北砲興発株式会社組織図☆☆☆





環境経営システム 役割・責任・権限表

職名（氏名）	役割・責任・権限
代表者 代表取締役 濱田 恵一	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者の任命など実施体制の構築。 ・環境経営方針の作成・社員への周知。 ・EA21取組全体の評価と見直し・指示の実施。 ・経営上の課題、チャンスを整理し明確にする。
環境管理責任者 専務取締役 濱田 公一	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・問題点の是正、予防処置の指示・確認。 ・環境経営活動の取組状況を代表者へ報告。
環境事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。 ・環境経営活動チェック表等の実績集計。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者 および 現場責任者 *1	所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の部内への周知。 ・教育訓練の実施。 ・環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・EA21推進、伝達。 * 1 新規入場者、作業員への環境配慮事項、緊急事態の教育等の指示、伝達
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

【2-3】

組織の概要

事業所名：北砲興発株式会社
代表者名：代表取締役 濱田恵一
所在地：青森県黒石市富田142番地
環境管理責任者：専務取締役 濱田公一
エコアクション21担当者：環境事務局長
電話番号：0172-52-5847
FAX番号：0172-53-5206
E-mail：qqas9cm9k@triton.ocn.ne.jp
法人設立年月日：1966年12月20日
資本金：10百万円



事業内容

建設業
産業廃棄物処理業
産業廃棄物収集運搬業
特別産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業
除排雪業務
山砂採取販売業

事業の規模

工事等の件数	18件
売上高	2億8,000万円
従業員数	9人
事務所・処理場の延床面積	7398.01㎡

対象範囲(認証・登録範囲)

北砲興発株式会社の全サイト、全組織、全活動を対象とする。

事業年度

4月～3月

環境経営レポートの対象期間(発行日)

令和6年4月～令和7年3月【発行日：令和7年7月11日】 【改定日：令和7年8月18日】

【2-4】

廃棄物処理業に係る許可内容

許可 の 内 容	産業廃棄物収集運搬業 許可番号 : 00210006489	許可 有効 令和5年9月12日 令和10年7月26日
	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、家畜ふん尿、家畜の死体(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
	産業廃棄物処分業 許可番号 : 00220006489	許可 有効 令和5年9月12日 令和10年8月25日
	廃プラスチック類、紙くず、木くず(移動先の木くず破碎は伐根及び伐採によって生じたものに限る。)、繊維くず、ゴムくず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可番号 : 00250006489	許可 有効 令和3年9月25日 令和8年9月24日
	青森県 廃石綿等、燃え殻(カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。)、汚泥(カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ又はベンゼンを含むことのみにより有害なものに限る。)	
	一般廃棄物処理業【収集・運搬業】 黒石地区清掃施設組合指令第1号	許可 有効 令和7年4月1日 令和9年3月31日
	ごみ(家屋解体時に発生する家具家財類に限る)	
	一般廃棄物処理業【処分業】 黒石地区清掃施設組合指令第5号	許可 有効 令和6年4月1日 令和8年3月31日
	ごみ(り災ごみに限る)	

【2-5】

☆☆☆ 処理施設の概要 ☆☆☆

設 備	設備名	能力・産廃の種類		台数
	木くず破碎施設	木くず 178.2 t / 日	6時間稼働	1
	がれき類破碎施設	ガラスくず 360 t / 日 コンクリートくず及び陶磁器くず 360 t / 日	8時間稼働	1
	破碎施設	廃プラスチック類 2.0 t / 日 紙くず 1.5 t / 日 ゴムくず 2.5 t / 日 廃石膏ボード 4.2 t / 日	8時間稼働	1
	金属くず切断施設	168 t		1
	圧縮固化施設	廃プラスチック類紙くず 5.2 t / 日 木くず繊維くず 5.2 t / 日	8時間稼働	1
	溶融固化施設	廃プラスチック類 0.4 t / 日	8時間稼働	1
	堆肥施設	食品残渣 4.8 t / 日	8時間稼働	1
	運搬車両	4 t 車 産業廃棄物		4
		6 t 車 産業廃棄物		1
		10 t 車 産業廃棄物		5



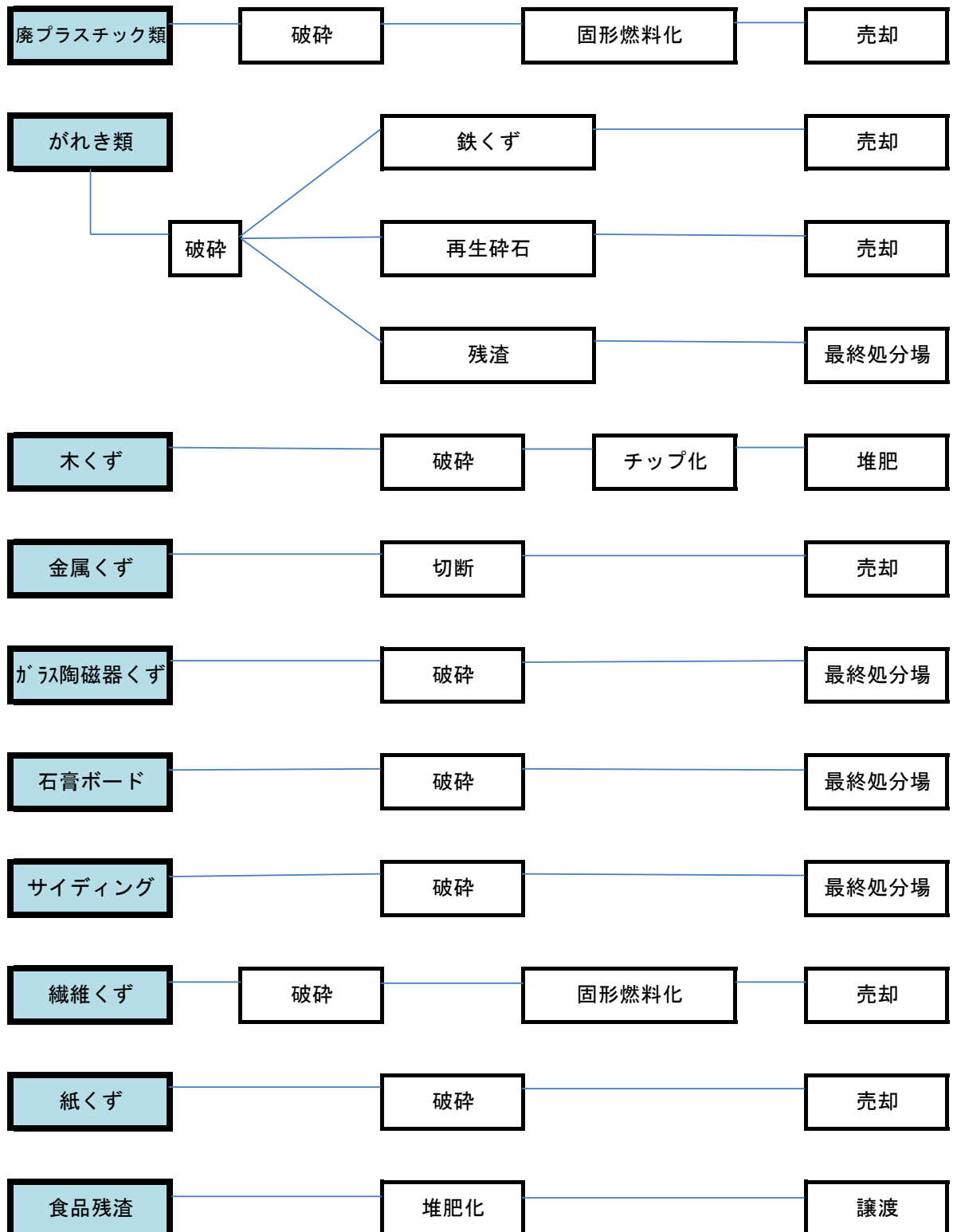
木くず破碎施設



廃プラスチック類・紙くず・ゴムくず・繊維くず・その他 破碎施設

【2-6】

処理方法・処理工程



【2-7】 受託した産業廃棄物の処理量

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）
収集運搬	がれき類	排出者／収集運搬／自社処理場	3134.79
	廃木材		7.24
	廃プラスチック類		15.52
	ガラス・陶磁器くず		5.74
	金属くず		0.70
収集運搬量合計			3,163.99

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）
中間処理	がれき類	破碎	11,020.05
	木くず	破碎	1,076.72
	廃プラスチック類	破碎	11.59
	ガラスくず	破碎	0.56
	陶磁器くず	破碎	7.66
	石膏ボード	破碎	7.12
	サイディング	破碎	6.44
	繊維くず	破碎	0.07
	紙くず	破碎	1.27
	金属くず	切断	0.16
うち 再資源化等	がれき類	破碎後路盤材化	11,020.05
	木くず	チップ化	1,076.72
	廃プラスチック類	固形燃料化	11.59
	繊維くず	固形燃料化	0.07
	紙くず	破碎・売却	1.27
	金属くず	切断・売却	0.16
	再資源化等量小計		12,109.86
中間処理合計			12,131.64

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）
中間処理 後の産業 廃棄物	最終処分 （委託）	ガラスくず	安定型最終処分（委託）	0.56
		陶磁器くず	安定型最終処分（委託）	7.66
		石膏ボード	管理型最終処分（委託）	7.12
		サイディング	管理型最終処分（委託）	6.44
	再資源化等	がれき類	破碎後路盤材化・売却	11,020.05
		木くず	チップ化・売却	1,076.72
		廃プラスチック類	固形燃料化・売却	11.59
		繊維くず	固形燃料化・売却	0.07
		紙くず	破碎・売却	1.27
		金属くず	切断・売却	0.16
再資源化等量小計			12,109.86	
中間処理後処分量合計				12,131.64

【3】 年度別環境経営目標の実績

主な環境負荷の実績

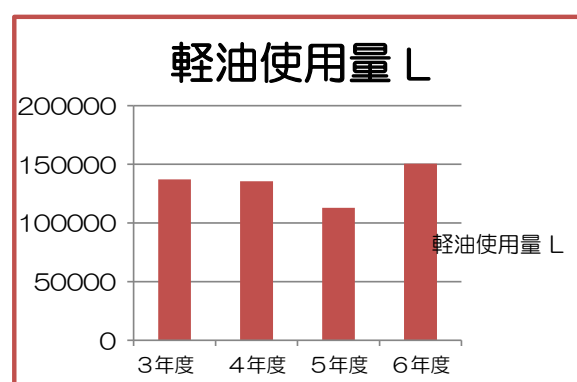
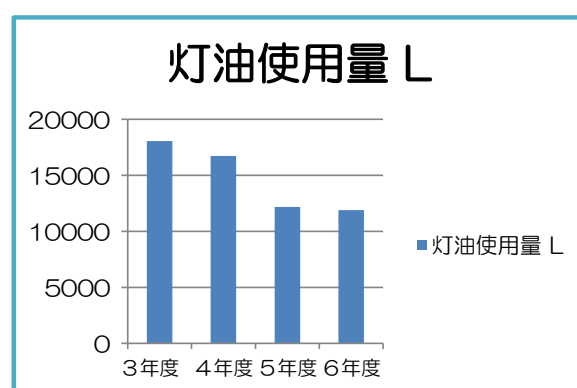
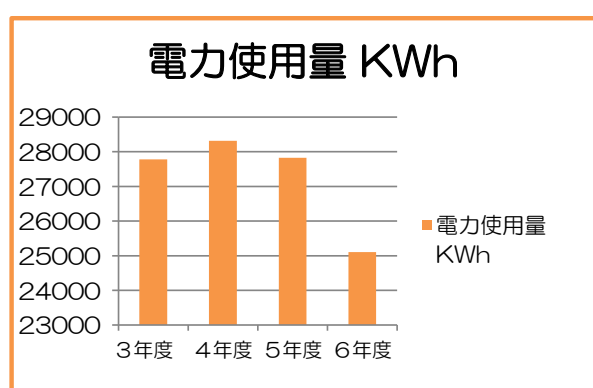
ここでは、年度別の環境負荷の実績を表に表しています。

過去3年間のものと比較すると、電力使用量、灯油使用量、ガソリン使用量は毎年少しずつではありますが削減をしています。

主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	415,410	407,920	338,005	439,078
電力使用量	KWh	27,761	26,974	27,078	25,104
灯油使用量	L	18,052	16,719	12,168	11,898
軽油使用量	L	137,252	135,573	112,979	150,568

R2. 1. 7環境省・経済産業省公表、東北電力㈱、調整後排出係数0.523kg-CO₂/KWhです。



【4】環境経営目標

当社では、特に使用量の多い電力、軽油、灯油の環境負荷削減に取り組んでおります。
表1は、全体の環境目標です。

全体の環境経営目標

指標	環境経営方針	環境経営目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			中長期の目標
					令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度～ 令和6年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率(%)	令和3年度	1	2	3	3
			kwh	27,761	27,483	27,206	26,928	26,928
		灯油の削減	削減率(%)	令和3年度	1	2	3	3
			L	18,052	17,871	17,691	17,510	17,510
		軽油の削減	削減率(%)	令和3年度	1	2	3	3
			L	137,252	135,879	134,507	133,134	133,134
		二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)	令和3年度	1	2	3	3
			kg-CO ₂	415,410	411,256	407,102	402,948	402,948
水使用量	節水	節水	削減率(%) m ³	令和3年度 437	1人あたり100ℓ 生活用水につき、データ管理とする。			
自らが施工・販売・提供する製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善	建設副産物のリサイクルの推進	リサイクル率の向上	再資源化率	令和3年度	—	—	—	95%以上
			(%)	95	95	95	95	
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	処分における環境配慮の推進	再資源化率の向上	再資源化率	令和3年度	—	—	—	95%以上
			(%)	95	95	95	95	
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%)	令和3年度	—	—	—	—
			件数	1	1	1	1	1

※一般廃棄物については、これまでの取組によって削減の限界にある為、削減目標の策定は行わず、環境配慮の取組内容を決め、その取組状況を定期的に確認します。

※化学物質については、使用実績がありません。

R2.1.7環境省・経済産業省公表、東北電力㈱調整後排出係数0.523を使用しました。

【5】環境経営目標の実績

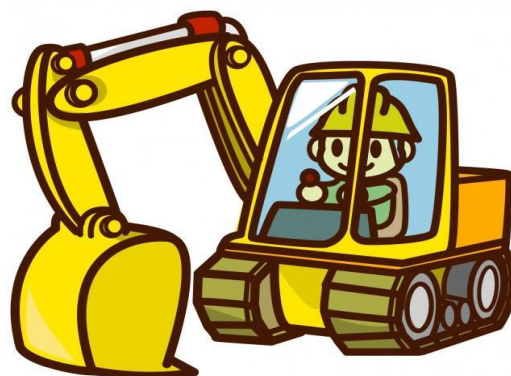
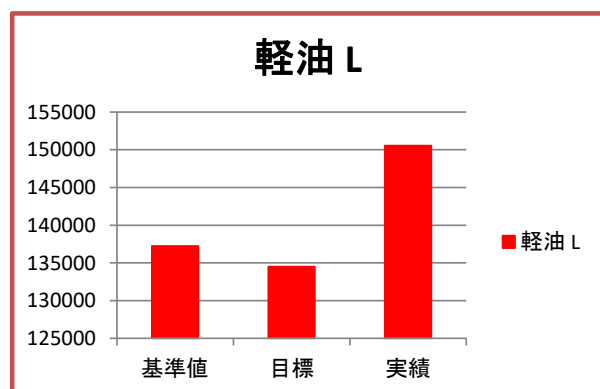
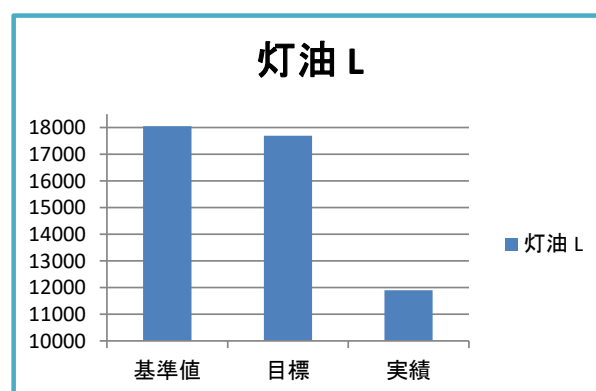
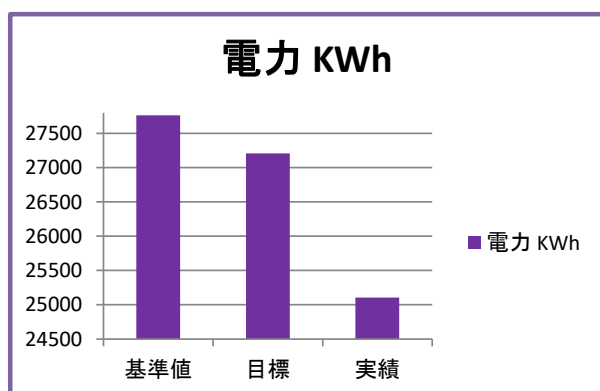
当社では、環境経営目標の達成状況の確認・評価を行いました。
令和6年4月から令和7年3月までの実績についての評価結果を報告いたします。

日々、環境負荷削減に取り組んでおります。

令和6年12月から3月までの大雪の影響で、ダンプや重機の稼働が著しく増え、軽油使用量に関しては目標を達成することが出来ませんでした。

令和6年度の環境経営目標の達成状況等

項 目	単位	基準値 (令和3年度)	令和6年度			環境目標の 達成状況 【○△×】
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
電力使用量	KWh	27,761	3%削減	26,928	25,104	○
灯油使用量	L	18,052	3%削減	17,510	11,898	○
軽油使用量	L	137,252	3%削減	133,134	150,568	×
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	415,410	3%削減	402,948	439,078	×
水使用量（水資源投入量）	m ³	437	生活用水につき、データ管理とする。			○
自らが施工・販売・提供する製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善	建設リサイクル率の向上	%	95.0	95.0	98.4	○
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	再資源化率の向上	%	95.0	95.0	99.8	○



【6】環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標・取組内容

環境経営計画については、単年度の環境経営目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を作成しました。
なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

主な環境経営計画の内容

環境経営方針	環境経営目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果・次年度の目標・取組内容	
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量削減	①休憩室や工場等の照明は、昼休み等不必要な時は消灯している。	2	・ＯＡ機器の主電源を切る事や冷暖房の適温化の徹底などエネルギーの消費に努めており、運転方法の配慮の徹底で二酸化炭素排出量削減が出来ている。 ・次年度の目標基準値：1509.4 削減率：1% 目標値：1494.4 ・次年度も取組を継続する。	
		②部分照明を徹底している。			
		③ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は普段は消灯、使用時のみ点灯している。			
		④プラント内の溶融固化機械や破砕機はこまめに電源をきる。			
	重機燃料等の二酸化炭素排出量削減	①作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図っている。	2		
		②タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値（メーカー指定の空気圧）を保つように努めている。			
		③排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている。			
		④エコドライブ等運転方法の配慮（急発進、急加速や空ふかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）を励行している。			
	灯油の二酸化炭素排出量削減	①事務所2階の冷暖房の適温化（冷房28度程度、暖房22度程度）を徹底している。	2		
		②窓の開閉等により外気取り入れ量を調整して室温を調節している。			
		③空調機については、フィルターの定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。			
		④冬季における重ね着、服装の工夫（ウォームビス）をして、暖房の使用を抑えている。			
一般廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の維持管理	①グリーン商品の使用・購入に努めている	※	令和7年度から取組状況を定期的に確認する。	
		②帳票簡略化、配布資料など印刷物の削減			
		③ミスコピー防止など紙類の廃棄物をなくする			
		④混合廃棄物としないよう徹底している			
産業廃棄物排出量削減	リサイクルの促進	①現場等で発生する建設副産物の再利用率向上のために工夫している。	2	リサイクル促進が浸透している。定期的に最終処分先を直接確認している。 ・次年度の目標基準値：95% 削減率：0% 目標値：95% ・次年度も取組を継続する。	
		②現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している。			
		③現場等で発生する廃棄物混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている。			
		④紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。			
産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行っている。 ②廃棄物の最終処分先を定期的に訪問し確認している。	2			
水使用量	使用水の削減	①洗車用水のバルブの調整により水量及び水圧の調整を図っている。	1		洗車時の水の止め忘れが多く、雨水も大切に使用するよう指導。 ・次年度の目標基準値：474kg 削減率：0% 目標値：474kg 次年度も取組を強化する。
		②水道配管の漏水を定期的に確認している。			
		③雨水貯留タンクからの雨水利用を行っている。			
・自らが施工・販売・提供する製品、設備、土木建築物等の環境性能の向上及びサービスの改善	環境負荷の少ない工法を提案、採用する	①排出ガス対策型建設機械を使用する	※		令和7年度から取組状況を定期的に確認する。
		②建設機械等の自主点検を実施する			
		③建設機械の省エネ運転を実施する			
		④サイクルタイムを短縮する			
		⑤土工等において施工管理基準を厳守する			
		⑥アイドリングストップする			
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分に 関する取組	収集運搬車両の購入・選択にあたっての配慮	①自動車の購入の際、排気ガスのレベル、燃費、リサイクル素材の使用等を考慮している。	2	収集運搬車両の代替を検討したり、受託した産業廃棄物の計測管理など徹底して行っている。 ・次年度の目標基準値：95% 削減率：0% 目標値：95% ・次年度も取組を継続する。	
		②最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車への代替を進めている。			
	収集運搬システムにおける環境配慮効率化	①作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図っている。			
		収集運搬に当たっての配慮			①廃棄物や汚水の飛散・漏えいが無いよう配慮している。
					②危険物等の混合防止に配慮している。
					③事故防止及び事故発生時における対応マニュアルを作成するなど、必要な体制の整備を図っている。
	受託した産業廃棄物の処分に 関する取組				④施設・設備の運転管理及び維持管理について、会社独自の体制等を設けて実施している。 ①受託した産業廃棄物の計測管理、搬入管理を行っている。 ②事故防止及び事故発生時における対応マニュアルを作成する等、必要な体制の整備を図っている。 ③施設・設備の運転管理及び維持管理について、会社独自の体制等を設けて実施している。
	社会貢献その他				①地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている。
②会社独自で公園等の清掃活動を行うようにしている。					

○：評価出来る2点、△：まずまず評価できる1点、×：評価できない0点

【7】 環境活動の状況

緊急時訓練の様子



運動公園・浅瀬石川河川敷清掃活動



【8】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において遵守状況を確認致しましたが、違反等はありませんでした。
また過去3年に於いても関係当局からの違反等の指摘、訴訟等ありませんでした。
主な関連法令の遵守状況は下記となります。□

□
□

No.	関連法令名	条項	要求事項	遵守
1	建設リサイクル法	第10条	対象建設工事の届出(着手7日前)	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	第12条9項 10項	多量排出事業者(1,000 t/年以上)計画、実施状況届	○
3		第14条1項	産業廃棄物収集運搬業許可	○
4		第14条6項	産業廃棄物処分業許可	○
5		第15条1項	産業廃棄物処理施設設置許可	○
6	騒音規制法	第6条	特定施設の設置届出(コンクリート破碎機外)	○
7	消防法	第11条	移動タンク貯蔵所設置届	○

【9】代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の取組を始めて丸8年が経ち、行動指針である環境負荷の低減についての意識は全従業員にだいた浸透し、日々の事業活動に良い影響を与えています。

環境経営目標については、令和6年12月からの大雪の影響で、軽油使用量が目標未達成となりました。軽油使用量はダンプや重機稼働量に左右される為、環境経営目標のエネルギー管理指標は今後、原単位管理による生産性向上指標としていくことを検討します。